

# 古着伝言板

2005年9月30日

## ファイバーリサイクルネットワーク

〒232-0017 横浜市南区宿町2-40 大和ビル101

Tel: 045-710-6507 Fax: 710-6508

FRN

<http://jimfiber.ld.infoseek.co.jp/> <mailto:jimfiber@orange.livedoor.com>

事務所オープン：月～金 11:00～16:00 (祭日を除く)



### ～第三次環境基本計画とFRNの活動～

服部 孝子

2005年(平成17年)7月、国の環境省の中央環境審議会総合政策部会から、第三次環境基本計画策定に向けた中間取りまとめが発表されました。環境基本計画は1994年(平成6年)12月に4つの長期的目標を定めた第1次計画が策定されました。4つの長期的目標とは①環境 ②共生 ③参加 ④国際的取り組みです。

2000年(平成12年)12月には「理念から実行への展開」を図るための11の戦略的プログラムを定めました。これは持続可能な社会に向けて計画の具体性や実効性を強化するためのプログラムでした。これを受けて多くの分野で様々な施策が進められてきました。それにも拘わらず、地球温暖化や水質、土壌、大気汚染、廃棄物問題など環境問題はその深刻さを益々大きくしています。廃棄物問題解決のための循環型社会の形成に関してもリデュース(廃棄物の発生抑制)、リユース(再使用)、リサイクル(再生利用)の3Rのうち、特に廃棄物の発生抑制が十分に進んでいるとは言えません。この基本計画が市民に行き届いているとはとても思えません。

そして2005年(平成17年)つまり今年の7月に中央環境審議会総合政策部会で第三次環境基本計画策定に向けた中間とりまとめが公表されました。今まで市民や市民団体等が地道に取り組んできた事も確認されてきたと言われています。この中間とりまとめの中で、「より小さな主体の方が自らの周辺状況に関する情報を多く持つ等、個別の事情に応じてより効率的、効果的に環境保全取り組みを行う事ができる……」と書かれています。いま、各自治体で「ごみの減量化」としての分別回収が強化されています。「布」類もその対象になっています。そのために、市民活動としての回収活動は、その役目を終了したのでは、と考えがちです。けれども、より効率的、効果的な循環型環境社会への取り組みは、今だからこそ必要なのです。改めて、この活動の大切さを認識して前進したいものです。



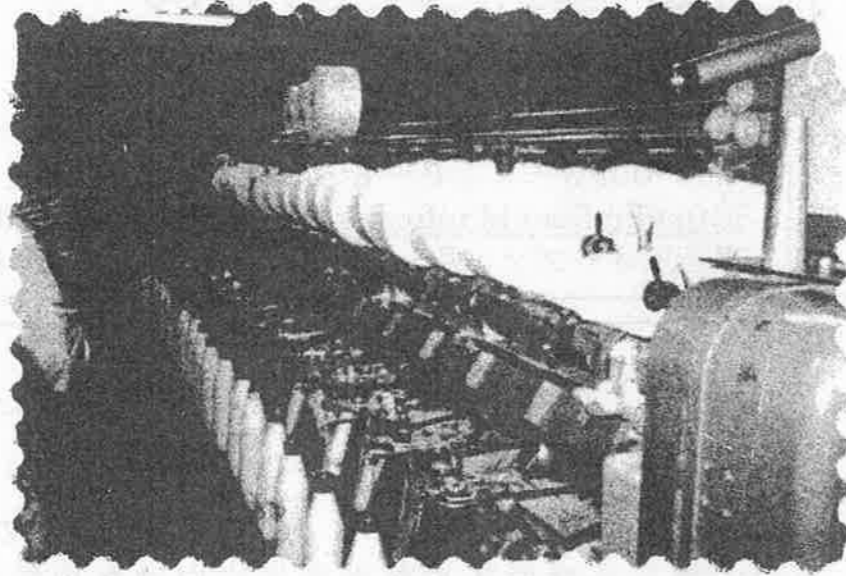
# ～繊維リサイクル研修会～

岡崎のリサイクル工場見学 2005年6月15日(水) 17名参加



私の手元を離れた古着の「その先は？」多少はアジアのどこかに輸出され、たいていの物は焼却処分、その位の知識でした。それがこんなに立派にリサイクルされていたとは！新しい綿と混ぜてきれいに再生された糸の美しかったこと。車の衝撃材(フェルト)にも生まれ変わっていたのです。雪のように舞い上がる繊維の中で黙々と働いておられた年配の男性の姿が印象的でした。さらに古着の「未来は？」新たな疑問が生まれました。

活動支援 熊谷 操



着物への興味から、数年前のリサイクルきものフェアを訪ねFRNの活動支援ボランティアという形でお手伝いをさせて頂いています。今回の工場見学には、着物以外の回収物はどうなるのか？という単純な疑問から参加しましたが、まさに「百聞は一見に如かず」でした。物が少なかった時代には当たり前だったリサイクルという習慣を現状にあった形で身近なものとするには、見学させて頂いた工場などとの協力が大切だという事を実感致しました。市場にも、自宅にも溢れかえる「物」が、「ごみ」にならない為には、関心と努力が必要だと言う事も改めて考えさせられました。

活動支援 古堅 啓子

回収している衣類が、何処に行っているのか知りたくて参加しました。豊橋駅に集合しバスで岡崎市(再生繊維を基に発展した所)に行き、最初の工場は衣類を裁断し綿状にしている工場です。綿がフワフワ舞っている大変な所でした。次は糸、フェルト、岡崎市繊維センター最後は私達が回収した故繊維をTシャツ、スカート、下着等に分別している工場でした。どこも古く小さく、フェルト工場は遠くにありました。一つにまとめて近代的な工場に出来れば活性化？出来る？毎年廃業する事業者もあるようです。いま衣類は繊維に戻す事は無くフェルトになるそうです。再生品の利用を高めないといけませんFRNのためにも！

逗子・葉山地区連絡会  
鈴木 マリ子



秋のリサイクルきものフェア

# ボランティア説明会

6月22日(水) 26名参加



運営委員の山本さんの説明にも熱が入ります！

うれしい事に我がFRNには多くのボランティアさんが参加して下さいます。

ただ楽しむだけでなく、ファイバーリサイクルの意味と意義をしっかりと身につけて頂こうと説明会を催しました。

これにもこんなに大勢の26名が参加して下さいました。

感激～!!

みんな真剣!!  
こんな緊張  
久しぶり!?



参加した方々の中には、自前の自信作をお洒落に身につけた方も多かったです。後半約一時間はお買い物もして和気あいあいと交流しました。お陰様で、まだ「秋のリサイクルきものフェア」一ヶ月前というのに着物・端切れは予定持ち込み数を準備する事が出来ました。帯もあと一息！

11月8日(火) 10:00～「秋のリサイクルきものフェア」お楽しみに!!



## 内部講習会《さき布ぞうり》

2005年8月3日(水)フォーラム南太田 16名参加

8月3日(水)フォーラム南太田において、さき布ぞうり作りの学習会を行いました。手軽に何でも買える時代に、綿(浴衣)等の古布を裂いて作る草履は環境に優しいリメイク品です。素足に馴染みやすく、拭き掃除もできて、汚れたら洗濯をして何回も使用できる優れものです。ぞうり作りは、編むために幾つかの注意があります。特に鼻緒の付け方が難しく、その都度丁寧に指導して頂きまして四苦八苦しながらも編み上げる事が出来ました。初作品のさき布ぞうりはフローリングの掃除に活躍しています。

横浜市消費者の会 斎藤 静子



出来たてぼやぼやの完成したぞうりを持って記念撮影!

## 内部講習会《カードケース》

2005年9月15日(木) 18名参加

牛乳の紙パックに古布を張ったら素敵なカードケースが出来ます。大きさを変えれば使い道も色々!!

## 横浜市みなみ市民活動センターオープン

南区に市民の活動の「場」が5月21日(土)にオープンしました。

FRNとしては、この場所がオープンするための準備委員会の委員として、一年間積極的に意見を述べてきました。

勿論、当日のオープニングの諸行事にも参加しました。「リテクス製品の販売」と「さき布ぞうりの講習」をしました。

会合する場所、作業する場所が中々、確保しにくい昨今、このような「場所」が出来たことは、市民にとっては大変、嬉しいことです。

ただ、FRNにとっては、少々遠いのが残念です。今まで、徒歩五分の南区役所でお借り出来ていた印刷機もバスで五分の市民活動センターまで行かなければ出来なくなりました。

でも、折角出来たセンターですから、活用することを考えて行きたいものです。(服部)

**みなみ市民活動センター**

地域の市民活動応援します

**◆さまざまな分野の学習・市民活動に関する相談・情報の提供**

◆研修室・作業室など活動拠点としての場の提供

◆印刷機・展示コーナーなどの利用・貸し出しなど、地域活動や非営利で公益的な活動を行う団体の地域に密着した活動拠点として、さまざまな市民活動を支援・推進します。

**(主な施設)**

- 研修室(50人規模の研修・講座利用など。分けて使うこともできます)
- 多目的室(20人程度の会議もできます)
- 作業室(印刷などの作業ができます)
- キッズスペース(保育の場所に使えます)
- 貸しロッカー(荷物の保管ができます)
- 貸しレターケース(私書箱代わりに使えます)
- 展示コーナー
- ミーティングコーナー(予約せずに、空いてれば自由に使えます)

**(貸し出し機材)**

- ・印刷機(作業室内のみ)
- ・紙折り機(作業室内のみ)
- ・プロジェクター
- ・スクリーン
- ・ワイヤレスアンプ、マイク
- ・ワープロ
- ・デジタルビデオカメラ
- …など

**\*施設案内図\***

**\*交通のご案内\***

- 市営地下鉄...「阪東橋駅」下車徒歩5分
- 京浜急行...「黄金町駅」下車徒歩10分
- 市営バス...68・76・98・102・110系統  
バス停「浦舟町」下車徒歩1分

**みなみ市民活動センター**

〒232-0024  
横浜市南区浦舟町3丁目46番地  
(浦舟複合福祉施設10階)

TEL 045-232-9544  
FAX 045-242-0897

**綿'S倶楽部との交流会**

2005年9月17日(土) 17:30~

この運動も10年を過ぎるとそれぞれ世代交代が始まります。お互いにこの運動は“何なんだ”とが“本当に理解しているのかしら”と不安になります。そこで話し合いの時を持ちました。忌憚の無い意見を出し合うことができ、良いコミュニケーションの時を過ごす事が出来ました。

**「わっ!」**

施設利用のご案内



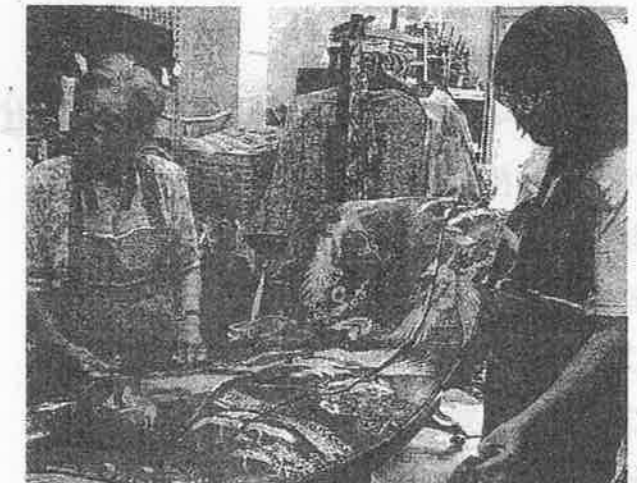
古い和服 処分どうする？

## 欲しい人へリサイクル

2月11日付の「お知恵拝借」で、大分市の徳丸精代さんが問いかけた「和服の処分」に、小物作りの方法を指南したり、譲り受けを希望したりする投書が26通寄せられた。ただ、「リフォームの腕もなく、廃品回収に出す気にもならない」という徳丸さん。そこで、古い和服を有効活用している横浜市の市民グループ「ファイバーリサイクルネットワーク」の取り組みを紹介する。

同ネットワークは92年に心の回収とリサイクルに転換した。洋服などの古着は同市も回収して外国に送っていたが、99年、和服中

ごみになっていることを知ったからだ。市から焼却処分前の和服をもらい、まだ着られるかどうかチェック。着られるものに値札を付け、「着物フェア」を開いて販売したところ、好評だった。現在は市だけでなく、生協などで定期的に回収したり、家庭で不要になった和服を全国から送ってもらったりして集めている。「着



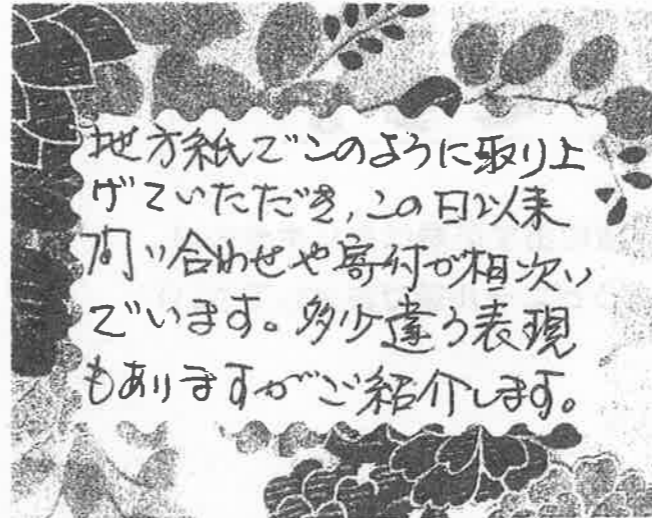
物フェア」は年2回になり、3千人が入場する催しになった。シミなどで着られなくなった

集まった着物を仕分けるボランティアら＝横浜市の南区のファイバーリサイクルネットワークで

った着物は、裂いて布や草履にしたり、小物作りの講習会を開いて材料として参加者に売ったりしている。足袋や腰ひも、風呂敷なども着物フェアで売ったり、仕分けに使ったりする。浴衣100円、打ち掛け3万円などで売った収益の2割は、子どもや女性を支援する国連の団体に寄付。残り活動資金に充てている。多くの人がリサイクルを

知ってもらおうと、フェアの会場ボランティアを募り、仕分け作業に参加してもらう。事務局の竹内幸代さん(48)は「着物にはいろんな思い出が詰まっていることが多い。そんな着物の新たな使い道を見出すつなぎ役になれば」と話している。

問い合わせは同ネットワーク(045・710・6507)へ。



地方紙でこのように取り上げていたが、この日以来同じ合めせや寄付の相次いでいます。多少違う表現もありますが紹介します。

今月14日、県立南が丘高校(八幡泰二郎校長)で、2年生を対象とした地域講座が開かれた。これは特技を持つ地域の人から伝統文化を学び、広い視野を身につけることを目的とした総合学習の一環として、去年から行われているもの。当日は、市役所生涯学習課が管理する人材バンク「まなびねつと秦野」に登録し

ている市民の中から講師や専門家を招き、チマキ作りや太極拳、折り紙、浴衣の着付け、廃繊維を使ったわらじ作り、おもちゃ作りなど、各種講座が開講された。浴衣の着付けを学んだ生徒は、「丁寧に教えてもらえて楽しかった。日本の文化として、これからも大切にしていきたい」と笑顔を見せた。廃繊維を使ったわらじ作りを指導した服部孝

南が丘高校で地域講座

子さんは「世界に一つしかない物を作ることで、物の大切さを知ってほしい」と話した。

同校職員の西井育さんは、「この取り組みを通して、地域の方とのふれあいや、形式にとらわれない自由な発想を養うことができれば」と話している。この講座は今後も継続して行われ、10・11月には1年生対象の講座が開かれる。



講師の指導に生徒も真剣

## 市民基金支援先

昨年引き続き、今年もユニフェムに決まりました。ユニフェムとは途上国の女性自立支援を目的とする国連の組織です。国連女性会議の呼びかけに応じて1976年国連総会決議に基づき国連女性の10年基金として設立され、1984年に「国連女性開発基金」と現在の名称に改められました。

ユニフェムは他の国連機関と比べて大変地味な機関です。しかし虐げられている途上国の女性はまだまだ多く自立のための困難は沢山あります。環境を守るための私達の活動が同時に途上国の女性自立支援に役立つ事が出来ればと願っています。

自立支援のお手伝いの一端として「市民基金」支援の他に、FRNの「リテックス製品」と「よみがえる和布製品」を販売品の一つとしてユニフェムで取り扱ってもらっています。

扱って頂いている物  
布花ブローチ、カギ入れ、さき布ぞうり、カラー軍手、白軍手、ダスター、五本指ソックス  
販売している場所：フォーラム内 ユニフェムショップ (旧戸塚女性フォーラム内)



**ダスター**  
軽く拭くだけで汚れが落ちて乾きが早い

**カラー軍手**  
とにかく丈夫で乾きが早い。大掃除に大活躍!

**白軍手**  
糸のよりが強いので何度も洗って使えます。

**さき布ぞうり**  
大人気! 室内でスリッパ代わりに履いて健康的で床磨き?もバッチリ!

**五本指ソックス**  
靴の中が爽やかで衛生的!

**カギ入れ**  
バックの中の鍵が直ぐに取り出せます!

**布花ブローチ**  
色とりどりの和布で「世界に一つだけの花!」



## 皆様にはお願いです。

- ◎基本は洗って出す事。(わざわざクリーニング店に出す必要はありません。)
- ◎雨天でも回収します。(雨が降っても濡れないようビニール袋でお出し下さい)
- ◎ボタンやベルトは取り除かないでください。
- ◎包装してある箱・ビニールは取り除いて下さい。

### ○ 回収できます。

ご家庭で不要となった繊維製品の内「再利用可能な古布・古着」とご理解下さい

- \* ほとんどの古布・古着・肌着類 (需要が高い)
- \* 靴下 (破れのない左右そろった物)
- \* ハンカチ・スカーフ・ネクタイ・毛布・タオル・シーツ・カーテン
- \* 女性用下着 (ブラジャー・スリッパ・ガードル等)

### × 回収できません。

- |                     |             |
|---------------------|-------------|
| ・ペットに使った毛布・タオル      | ・布団・枕・人形    |
| ・会社の制服・ユニフォーム       | ・便座カバー・スリッパ |
| ・泥・油・ペンキで汚れた物       | ・使い込んだ雑巾    |
| ・じゅうたん・カーペット・足拭きマット | ・仕立てくず      |
| ・こたつの下敷き・電気毛布       | ・ベットマット     |
| ・雨合羽・傘・ビニールコーティングの物 | ・靴          |

\* 着物の寄付を受け付けています。

ご不要の着物・帯・小物をお持ちの方はご連絡下さい。



〒232-0013 横浜市南区宿町2-40 大和ビル101  
ファイバーリサイクルネットワーク  
TEL045-710-6507 (平日 11:00 ~ 16:30)